

本ニュースリリースは、株式会社アシスト、株式会社 STNet、日本オラクル株式会社、各社から配信しております。重複して受信される場合がございますが、予めご了承ください。

## News Release

2013年11月28日  
株式会社アシスト  
株式会社 STNet  
日本オラクル株式会社

### Meiji Seika ファルマ、資源管理システムを稼働開始 ～研究開発プロジェクトの資源投資状況の可視化と共有を可能にし プロジェクト予算の有効活用を実現～

・株式会社アシスト(本社:東京都千代田区九段北、代表取締役社長:大塚 辰男、以下 アシスト)、株式会社 STNet(本社:香川県高松市春日町、取締役社長:中村 進、以下 STNet)と日本オラクル株式会社(本社:東京都港区北青山、執行役社長 最高経営責任者:デレク・エイチ・ウィリアムズ、以下 日本オラクル)は、Meiji Seika ファルマ株式会社(本社:東京都中央区京橋、代表取締役社長:松尾 正彦、以下 Meiji Seika ファルマ)が、オラクルの業務アプリケーション製品「Oracle E-Business Suite」とアシストが提供する BI プラットフォーム「WebFOCUS」を導入し、資源管理システムを稼働開始したことを発表します。なお、システム構築作業は STNet が担当しました。

・Meiji Seika ファルマは、医療用医薬品(新薬、ジェネリック医薬品)、農薬、動物用医薬品の製造と販売を中核に事業展開しています。グループ理念である「健康・安心への期待に応える」に基づき、有用で高品質な製品の研究開発をより一層強化するためには、効果的な資源管理の仕組みが必要になることから、新システムの導入を決定しました。

・Meiji Seika ファルマでは、従来プロジェクト管理においてそれぞれの部署で個別に管理していたため、費用、進捗、工数や要員などの情報の一元的管理や部門内共有に課題を抱えていました。これらの課題を解決するため、研究開発プロジェクトごとの資源投資状況を把握するための情報を一元管理し、リソースの最適化を図るための適正な判断に役立てることのできる資源管理システムの構築を目指しました。

・資源管理システムは、「Oracle E-Business Suite」のプロジェクト管理アプリケーション「Oracle Projects」とデータのグラフ表示やレポートの作成を行うツール「WebFOCUS」により構築されています。現在は Meiji Seika ファルマの研究所や研究開発管理部門などの業務担当者が同システムを活用し、研究開発プロジェクトを実行・管理しています。

・新システムを導入したことで、研究開発プロジェクトの資源投資状況管理の標準化とそれによる業務効率化、部門内共有の円滑化、さらにはより正確な予実管理によりプロジェクト予算の有効活用を実現しています。

●Meiji Seika ファルマについて

Meiji Seika ファルマは、医療用医薬品（新薬、ジェネリック医薬品）、農薬、動物用医薬品の各事業において、有用で高品質な製品の研究開発、安定的な供給および製品情報の適切・迅速な提供などを通じて、患者さん・医療機関・農業生産者などのユーザーの皆さまに貢献することによって、社会的責任を果たしてまいります。詳しくは、[www.meiji-seika-pharma.co.jp](http://www.meiji-seika-pharma.co.jp) をご覧ください。

●アシストについて

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。「パッケージ・インテグレーター」として複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースのそれぞれの分野で支援しています。今年、新スローガン（「お客様の最高」のために）のもと、この3分野にさらに注力し、商用だけでなくオープンソース・ソフトウェアを含め顧客企業の立場に立った製品選定と独自の組み合わせによる製品／サービスの提供を一層強化し、活動していきます。

●STNetについて

情報と通信の両分野を併せもつメリットを最大限に活かした新しいサービスで、存在感のある「総合SI 提案企業」として皆様のお役に立てるよう全力で取り組んでまいります。最新のファンリティと万全のセキュリティ対策を施した西日本最大級のデータセンター Powerico（パワリコ）2013年12月サービス開始。詳しくは、[www.stnet.co.jp](http://www.stnet.co.jp) をご覧ください。

●オラクルについて

オラクルは、クラウド環境と皆様のデータセンターの両方においてハードウェアとソフトウェアが連携して稼働するよう設計します。オラクル（NYSE:ORCL）に関するより詳細な情報については、[www.oracle.com](http://www.oracle.com) をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 田口

Tel:03-5276-5850 / Fax:03-5276-5895 / E-mail:[press@ashisuto.co.jp](mailto:press@ashisuto.co.jp)

株式会社 STNet 首都圏営業部 三谷

Tel:03-5798-2480 / Fax:03-5798-2481 / E-mail:[solution-eg@stnet.co.jp](mailto:solution-eg@stnet.co.jp)

日本オラクル株式会社 広報室 石川

Tel:03-6834-4837 / Fax:03-6834-6129 / E-mail:[pr-room\\_jp@oracle.com](mailto:pr-room_jp@oracle.com)

プレスルーム <http://www.oracle.com/jp/corporate/press/>

\* Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文書は情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。